

# 地域を守り、食を通じて人をつなぐ

## 鳥取・大山町 新品種の米・大豆に挑戦

【鳥取】大山町には地域を守るカラス天狗の伝説があり、地域の農業を守っていくとの理念を共有し命名された「鳥取カラス天狗」が2014年に設立されている。

現在2代目として代表理事を務める矢田考志さん(40歳)は、農業委員の傍ら農の雇用事業などの活用で女性や青年の雇用を積極的に推進。さらにインターンシップで中学生の社会体験を受け入れるなど、人材育成にも熱心に取り組んでいる。また農地中間管理事業を活用してまとまった農地を確保し順調に経営面積を拡大。21年には「鳥取県優秀経営農林水産業者」表彰を受けている。

現在の経営面積は40畝で、圃場は約2000筆を数える。水稲、大豆、白ネギに加え、普及支所などの支援でミニトマトの施設栽培も手がける。

栽培の目玉は県農業試験場が開発した18年デビューの「農園スイーツmomi」が6月にオープンした。田圃の中にある平屋約40平方メートルの店舗と約250平方メートルのサツマイモ貯蔵庫は国道53号線から目を引く。



星空舞の圃場の前で大山を背に矢田代表

ユ一の米新品種「星空舞」と、長野県野菜花き試験場が開発し、当時は唯一奨励品種採用予定だった鳥取県の意向もくんで命名された大豆新品種「星のめぐみ」だ。

星空舞は炊飯後の光沢が優れ、おいしさの指標「味度値」が非常に高く、冷めても食感が変わらない。星のめぐみは外観品質が良く、子実の粗タンパク質含有率が高く豆腐加工適性に優れている。同法人はこの特長を活かしながら、食を通じて人をつなぎ、大山の地域で自然とともに楽しく働きたいという思いを込めていくという高い志で取り組むを進める。

矢田代表は「今では農地も集落単位でまわることや期待される。中山間地域の農業の難しさはあるが、利益の出せる法人のモデルとしてやっていけることを示したい」と力強く語る。

## 農福連携のサツマイモ使用 岡山・久米南町 スイーツ専門のカフェ人気

【岡山】久米南町に「農園スイーツmomi」が6月にオープンした。田圃の中にある平屋約40平方メートルの店舗と約250平方メートルのサツマイモ貯蔵庫は国道53号線から目を引く。

サツマイモを使ったスイーツ専門のカフェで、焼きいも他、シュークリーム、ブリュレ、かき氷などサツマイモのおいしさを堪能できるスイーツばかりが並んでいる。テイクアウトもできる。このお店で使用しているサツマイモは、岡山県農商が障がい者就労支援のために設立したNPO法人岡山自立支援センターと連携して栽培されている。適期収穫されたサツマイモは貯蔵庫でじっくり熟成され、就労継続支援事業所のもも子くめさんが製造販売を行っている。

岡山県農商会長の板橋完樹さん(70)は1999年に同社を設立。同社の農園で福祉施設と連携して芋畑を開設したことをきっかけに、2008年に



いもあんなつぷりの「いもんぷらん」をすすめる板橋さん

【高知】高知県は9月21日から、農家がスマホやパソコンを利用して生産と出荷に関するデータを活用できる「IOPクラウド」(SAWAACHI)の本格運用を開始した。これは経験や勘だけに頼らないデータに基づく農業をめざし、県がJAWAACHI本格運用グループ高知や県内大学などによる産学官連携の農家の栽培データを収集して構築した。SAWAACHIは、農家がいつでもどこでもスマホやパソコンでハウス内の温度、湿度、日射量などの情報を確認できる機能

【香川】まんのう町農業委員会(中浦優会長)は、農地利用最適化活動のほか、本年度から「農業委員会定期活動」を設けて取り組んでいる。この活動は、毎月5、10、15、20、25、30日(5の倍数)を活動日として設け、農業委員・農地利用最適化推進委員は必ず担当区域内農地や土地改良施設などの目視確認

【香川】まんのう町農業委員会(中浦優会長)は、農地利用最適化活動のほか、本年度から「農業委員会定期活動」を設けて取り組んでいる。この活動は、毎月5、10、15、20、25、30日(5の倍数)を活動日として設け、農業委員・農地利用最適化推進委員は必ず担当区域内農地や土地改良施設などの目視確認

## 5の倍数日に定期活動

【香川】まんのう町農業委員会(中浦優会長)は、農地利用最適化活動のほか、本年度から「農業委員会定期活動」を設けて取り組んでいる。この活動は、毎月5、10、15、20、25、30日(5の倍数)を活動日として設け、農業委員・農地利用最適化推進委員は必ず担当区域内農地や土地改良施設などの目視確認

【香川】まんのう町農業委員会(中浦優会長)は、農地利用最適化活動のほか、本年度から「農業委員会定期活動」を設けて取り組んでいる。この活動は、毎月5、10、15、20、25、30日(5の倍数)を活動日として設け、農業委員・農地利用最適化推進委員は必ず担当区域内農地や土地改良施設などの目視確認

## 吉野梨味わいながら3年ぶりのマラソン

【熊本】9月23日の秋分の日、第17回氷川町梨マラソン大会が行われ、県内外から895人のランナーが参加した。これは特産の吉野梨をPRしようとする町が開いているので、新型コロナウィル



【熊本】9月23日の秋分の日、第17回氷川町梨マラソン大会が行われ、県内外から895人のランナーが参加した。これは特産の吉野梨をPRしようとする町が開いているので、新型コロナウィル

【山口】熊毛郡田布施町にある神協産業(北村政代表取締役社長)は1964年から、北欧の海で育つ「アルギット」と呼ばれる海藻を用いた肥料の製造から販売までを行っている。会社設立当初は海藻肥料の付面積が全国5位を誇る。本年度は春にタマネギ価格が高騰。そのため農業者の節税意識の高まりを背景に、9月末の時点ですでに18人の新規加入者を獲得している。

同委員会の片淵久司会長(72)は「今年は農家の経営が非常に良いの想像以上に険しく、試行錯誤の日々が続いたが、企業努力を続けた結果、顧客が付きよくなった。現在では同社で生産する農産物はブランドとしての価値が付き、青果市場で一定の評価が得られるようにまでなっている。

【山口】熊毛郡田布施町にある神協産業(北村政代表取締役社長)は1964年から、北欧の海で育つ「アルギット」と呼ばれる海藻を用いた肥料の製造から販売までを行っている。会社設立当初は海藻肥料の付面積が全国5位を誇る。本年度は春にタマネギ価格が高騰。そのため農業者の節税意識の高まりを背景に、9月末の時点ですでに18人の新規加入者を獲得している。

【佐賀】白石町農業委員会では、JAと連携し農業者年金の加入推進に力を入れている。農業委員と事務局職員、JA支所の支所長と金融課長らで構成する地

【佐賀】白石町農業委員会では、JAと連携し農業者年金の加入推進に力を入れている。農業委員と事務局職員、JA支所の支所長と金融課長らで構成する地

【鳥取】大山町には地域を守るカラス天狗の伝説があり、地域の農業を守っていくとの理念を共有し命名された「鳥取カラス天狗」が2014年に設立されている。

【佐賀】白石町農業委員会では、JAと連携し農業者年金の加入推進に力を入れている。農業委員と事務局職員、JA支所の支所長と金融課長らで構成する地

【佐賀】白石町農業委員会では、JAと連携し農業者年金の加入推進に力を入れている。農業委員と事務局職員、JA支所の支所長と金融課長らで構成する地